

■ 事業名 **施設園芸作物土づくり支援事業(新規就農者向け)** (事業費:1,200,000円)

■ 事業内容 当地区におきまして、平成24年度より新規就農研修生の受入を開始し、第1期生から6期生(平成31年4月時点)までの新たな農業参入者が就農しております。経営開始時点における新畑栽培では1~3年の使用により地力が衰え作物の収量減少傾向となりつつあります。

収量減少による所得低下を防ぐためにも、継続的な土づくりを新規就農者が取り組むことが必要不可欠であり、経営開始時点から土壌診断に基づいた土作りの励行が経営の安定化につながります。

本事業により基本的な土作りを認定新規就農者を対象に推進し、有機質堆肥「ヒダカノキセキ」・「新ひだか町和牛堆肥」の有機物の投入により、地力増進による反収並びに品質の向上により経営の安定化を図る。

■ 事業対象 青年等就農計画(認定新規就農者)認定

■ 対象資材 有機堆肥(ヒダカノキセキ・新ひだか町和牛堆肥)

負担区分	町	JA	受益者
負担区分	240,000円(20.0%以内)	360,000円(30.0%)	600,000円(50.0%)

■ 事業名 **軽種馬農家等経営改善支援対策事業(黒毛和牛貸付事業)** (事業費:13,500,000円)

■ 事業内容 軽種馬農家等の肉用牛の導入による経営改善を促進するため、農業協同組合に対し町所有黒毛和種繁殖素牛を貸付、又は預託することにより、土地利用型農業の確立と農業経営の安定を目的としている。

■ 事業期間 平成31年~令和5年

■ 対象事業 繁殖素牛導入 15頭

負担区分	町	JA	受益者
繁殖牛導入	13,500,000円	—	—
合計	13,500,000円	—	—

大きな成長を願って

新ひだか町静内地区川合牧野団地へ入牧始まる

新ひだか町牧野静内団地において5月14日に静内酪農振興会(会長 小池孝義さん)の生産者を始め、各関係機関により乳牛の入牧が行われました。

牧野団地は92ヘクタールの広大な敷地に、牛のストレスを軽減し、健康的な育成、丈夫で元気な仔牛を産ませることを目的に行っており、今年は振興会生産者7戸から集められた生後6ヶ月から24ヶ月齢までの乳牛100頭が入牧しました。また、入牧の際には、事前に各生産者が行った妊娠鑑定に加え、コンディションチェックのための採血や体重測定も実施し、また昨年同様、近い月齢ごとに4牧区に振り分けることで、よりストレスを軽減できるよう放牧の工夫を行っています。

同牧野での放牧は10月末まで行われる予定で、退牧時まで1頭当たり150kg以上の体重増を目指します。



ジャージー種も入牧しました。



入牧後、牛魂祭が行われました。